

マーケットの動き (2020年8月17日～8月21日)

先週の米国株式市場は、S&P500種株価指数は上昇し、NYダウはほぼ横ばいとなりました。米国と野党の追加経済対策の協議難航、米中協議の延期、金融緩和策への期待の後退、強弱まちまちな経済指標の発表などが警戒されましたが、大型ハイテク企業が上昇し市場を支えました。

欧州市場は、ユーロ圏PMI（総合購買担当者指数）の悪化やEU（欧州連合）・英国の通商協議難航などが警戒されて下落しました。

投資環境見通し (2020年8月)

外国株式相場は強弱材料が交錯し、方向感に欠ける展開

外国株式相場は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が広がる中、实体经济の回復には当初の想定よりも時間を要するとの見方が強まっていますが、各国中央銀行による異例の大規模金融緩和や財政支出による流動性供給を背景に、下値を切り上げる相場展開が続くことも考えられます。また、米国企業決算が事前の予想以上に堅調なことや欧州経済の改善期待が高まっていることもプラス材料と考えられます。一方、米国では景気回復ペースが鈍化しつつある中、失業保険特別給付が満額で延長される可能性は低いとみられ、議会内での合意内容次第では、個人消費の下振れが懸念されます。外国株式相場は強弱材料が交錯し、方向感に欠ける展開を予想しています。

	8月21日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,397.16	0.72%	4.29%	1.78%	16.16%
NYダウ	27,930.33	▲0.00%	4.06%	▲3.66%	6.59%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

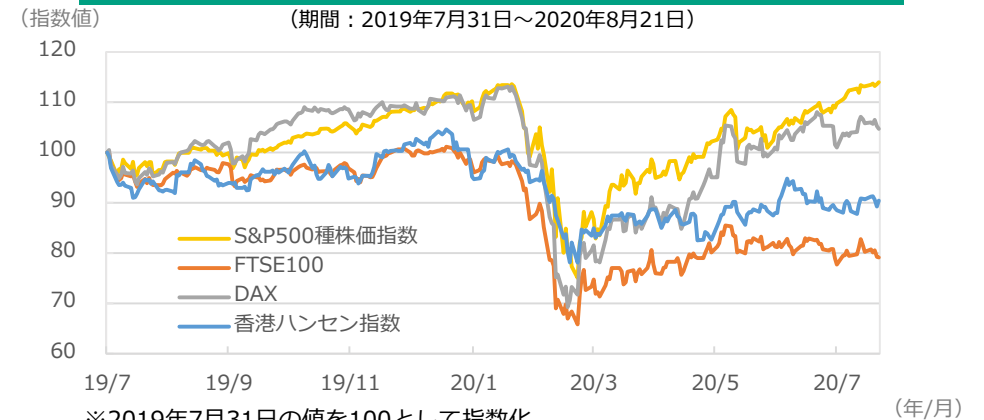
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202008_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2019年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成